



## 一般事務職員 募 集

(募集予定人員 1名)

社会福祉協議会では、  
令和 5 年 4 月 1 日採用の一般事務職員採用試験を実施します。  
村の福祉に貢献したいという方の応募をお待ちします。

1 次試験 試験日 令和 4 年 10 月 30 日 (日)

内 容 一般教養試験及び適正検査

会 場 東秩父村役場

2 次試験 試験日 令和 4 年 11 月 20 日 (日)

内 容 個別面接による口述試験

会 場 東秩父村役場

### 受験資格

- ① 社会福祉、地域福祉に熱意を持つ方
- ② 高等学校以上を卒業した方又は、令和 5 年 3 月 31 日までに卒業見込みの方
- ③ 令和 5 年 4 月 1 日現在、満 4 0 歳 (昭和 5 8 年 4 月 2 日生) までの方
- ④ 普通自動車運転免許を有する方 (AT 限定可)

### 受験できない方

- ① 日本国籍を有しない方
- ② 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は、その執行を受ける事がなくなるまでの方
- ③ 日本国憲法の施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、または、これに加入した方

### 応募方法

募集要項は、9 月 20 日(火)より 10 月 14 日(金)まで、社会福祉協議会窓口でお渡しすると共に、郵送での請求も受け付けます。

郵送での請求は、「職員採用試験申込書請求」と朱書きした封筒に、120 円切手を貼った宛先明記の返信用封筒 (定形「角 2 号」) を必ず同封の上、本会へご請求ください。

詳しくは、下記担当までご連絡ください。

# 社会福祉協議会事業紹介

## 彩の国あんしんセーフティネット事業

埼玉県内の社会福祉法人が協働して行う社会貢献活動としての相談支援事業で、相談者の利用可能な制度の紹介や支援機関への橋渡しを行い、窮迫した状況にある相談者には現物支給による経済的援助活動等により生活困窮者の自立を支援します。

また、事業を担う社会貢献支援員の配置のための財源として、社会貢献活動会費を埼玉県社会福祉協議会へ拠出します

## 心配ごと相談所の設置運営

住民の生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行い住民福祉の増進を図ることを目的に、民生委員の協力を得て毎月1回、行政相談と併設して開設します。

## 敬老会の開催

※今年度の敬老会は、コロナウイルス感染予防の観点から、開催を取り止めました。

高齢者の健康増進と福祉の向上を図るため、敬老会を開催します。村内に居住され、長年社会に後見された方々（12月末日で75歳以上の方）の長寿と健康をお祝いすると共に、特に次の方々を対象に賀詞と記念品の贈呈を行います。

○金婚(結婚50周年)を迎えられた方 ○米寿(88歳)を迎えた方 ○100歳を迎えた方

## 日赤会費の納入ありがとうございました

本年度は、877人の方から438,800円の会費を納入いただきました

本年度の日赤会費につきましては、各行政区長さんのご協力により、地区ごとに集金が行われ下表のとおりとなりました。この会費は、日本赤十字社活動の資金となり、平時の備えから災害時の救助活動等に使われます。詳しい使い道につきましては、次号以降でお知らせします。 単位：人・円

地区	宿	在家1	在家2	帯沢	川下	川上	萩平	向堀	奥沢下	奥沢上
会員数	61	68	42	50	68	38	24	34	43	33
金額	30,500	34,000	21,000	25,000	37,000	19,000	12,000	17,000	21,500	16,500

地区	坂本下	坂本中	新井	柴	栗和田	大内沢下	大内沢中	大内沢上	皆谷下	皆谷上	白石
会員数	64	17	27	18	28	43	32	36	68	52	31
金額	32,000	8,500	13,500	9,000	14,000	21,500	16,000	18,000	31,300	26,000	15,500

9月のシルバー人材センター入会説明会は、9月8日(木)10時よりコミュニティセンターで行います。

たより雑感  
夏の甲子園大会も仙台育英高校の優勝で幕を閉じました。甲子園大会の歴史上白河の関を越え東北地方に優勝旗が入ったのは、初めてだそうです。  
このチームを率いた須江航監督は、さいたま市生まれの39歳。小学校2年生から野球をはじめ、鳩山中学校卒業後仙台育英高校へ進学されました。  
須江監督が、話された、「青春は凄く密ですから」という言葉が、話題になっています。コロナウイルス感染予防のため、高校生の行動が様々な制約を受け、監督の高校時代とは全く違い、あれもダメ、これもダメと言われる中、全国の高校球児が、くさらずに目標を定め、野球に打ち込み、甲子園という舞台で素晴らしいプレーを見せてくれたことに對する、メッセージだったようです。  
須江監督は、「この大会の優勝は、全国の高校球児が諦めずに良くやった努力の賜物であり、ぜひ全国の高校球児に拍手してもうらえたらなと思います。」と締めくくっていました。